



ロータリー
変化をもたらす

2017-2018年度

■会長 愛宕 彰

■幹事 寺田 祐子

例会日:金曜日 12:30-13:30

例会場:スカイホテル魚津

第3080回例会

■点鐘・握手

■ロータリーソング「我等の生業」

■ゲスト並びにビジターの紹介

関口 衛(せきぐち まもる)様



■誕生祝い

18日:清水夫人

20日:杉野夫人

24日:山澤君



妻は今でも子供4人、孫7人の世話ため、東京に料理を送ったりしており、こうした親の思いが通じればと思っています。



妻は年相応に元気な方だと思います。新幹線のおかげで1~2か月に1度は子供が帰ってきてくれるので喜んでおります。



2か月前前に娘が孫を出産しまして、娘の子なので結構触れておもちゃとして扱っています。

■会長挨拶 愛宕会長

お盆も明け、ようやく仕事モードになった頃ですが、私も昨日から久しぶりに仕事を始め体調を崩してしまい四苦八苦しております。早速、昨夜に社会奉仕委員会を開きまして9名の方が参加されました。色んな方が多方面の意見を交わしているのをみて、やはりロータリーはいいなと思いました。また、今日の卓話は関口衛さんで、日頃から魚津で大活躍しておられますので、大変楽しみにしております。



■幹事報告 寺田幹事

★ガバナー事務所より

- ・九州北部集中豪雨被害義捐金のご報告
- ・2003-2004年度ガバナー 北川昌夫氏(金沢RC) 訃報

★全日本大学女子野球連盟より

- ・「第31回全日本大学女子野球選手権大会」のご案内(お礼)

■8月例会案内【会員増強・拡大月間】

8月25日(金):魚津西・魚津RC合同夜間例会 18:30開会点鐘

★8月SAA補助:野澤君・青山君 よろしくお願ひします。

■理事会報告

第3091回例会日の変更について(11/8野外例会←11/10通常例会)



[グランミラージュ]



■2017-18年度「地区組織委嘱状」伝達式

インターアクト委員会 委員 坪井君

■出席報告 平崎委員長

本日の出席	欠席者	3078回メイクアップ	3078回出席率
23名	7名	なし	65.51% (←65.51%)



■ニコボックス報告 佐藤委員長

- ★愛宕君: 関口衛さま 本日は、大変ありがとうございます。卓話楽しみにしております。
- ★宮本君: 南アルプス3000m 4峰 走破しました。
- ★稲盛君: ジャガイモ堀り たくさんのお客様 ありがとうございました。
- ★広瀬君: 魚津祭り3日間堪能し特に花火は娘も大喜びでした。愛宕さんありがとうございました。
- ★親睦活動委員会: 8/5に愛宕会長のご協力により花火をみなさんと鑑賞させていただきました。とてもきれいに観えて会員間の親睦も深めました。ありがとうございました。



■委員会報告

- ★クラブ定款・細則改定委員会 野澤委員長
・8/8クラブ定款・細則改定委員会開催(報告)
- ★社会奉仕委員会 稲盛地球環境委員会委員長
・イアン・ライズリーRI会長メッセージ
『2018/4/22アースデーまでに会員一人1本の樹を植える』
- ★インターアクト委員会 坪井委員長
・10/21魚津工業高校文化祭(魚工際)の閉会式において魚津RCの模擬例会を開催(インターアクト活動報告、RC感謝状・奨励金授与等)
- ★広報委員会 広瀬委員長
・ロータリーの友8月号紹介(魚津しんきろうマラソン参加)



本日の卓話

『ブッタ・ゴータマ』

関口 衛 氏

- ①当時のインド社会
- ②アーリア人の進出
- ③ブッタの出自は
- ④インドの思想界、百花繚乱
- ⑤ブッタの説いた真理、因果応報
- ⑥八正道、覚りを開くための8つの実践方法
 - 1.正見 ・正しい見解、偏見や固定観念に執着しない。
 - 2.正思考性 ・道理によって考える。
 - 3.正語 ・正しい言葉を使う。
 - 4.正業 ・正しい行い。
 - 5.正命 ・正しい生活を送り、悪行をしない。
 - 6.正精進 ・怠ることなく、正しい努力をする。
 - 7.正念 ・正しい教えを心に留めること。
 - 8.正定 ・正しい精神統一(瞑想)。



【中道】 2極の動きにも左右されない、通編的で道理にかなった姿勢のこと。
ブッタ曰く、私は両極端を捨て、中道を覚りました。これによって、洞察も認識も得られ
寂滅・覚り・目覚め・涅槃に至る。中道とは、聖なる道(八正道)です。

【波羅蜜多】 彼岸に渡った・至彼岸・完成。

【六波羅蜜】

- ①布施波羅蜜 ・物惜しみしない、自分の欲を捨て施す。
- ②持戒波羅蜜 ・殺さない、盗まない、邪な心をもたない、嘘をつかない、酒を飲まない。
- ③忍辱波羅蜜 ・苦難を耐え忍ぶ。
- ④精進波羅蜜 ・努力を怠らない。
- ⑤禅定波羅蜜 ・心を落ち着かせ、心を統一する。
- ⑥智慧波羅蜜 ・真実を見通す力。

【六道輪廻】

- ①地獄道 ・生前の悪行により責め苦を受ける。
- ②餓鬼道 ・飢えと渇きに苦しむ亡者。
- ③畜生道 ・弱肉強食の世界。
- ④阿修羅道 ・争いや、怒りの絶えない世界。
- ⑤人道 ・四苦八苦に悩まされる。
- ⑥天道 ・足が地についていない。

【四苦八苦】

- ①愛別離苦 ・死別、生き別れ。
- ②怨憎会苦 ・嫌な人や、憎い人とも、会わねばならない苦。
- ③求不得苦 ・欲望や欲求には限りがない。
- ④五蘊盛苦 ・色(肉体)、受(感受性)、想(観念)、行(心の動き)、識(認識)
八苦の内の五苦をまとめたもの。人生そのものは苦である。

【三法印】

- 諸行無常 ・全てのものは、変化し生滅する。永遠に変わらぬものは何もない。
- 諸法無我 ・全ては因縁によって生じたものであり、実態はない。
- 涅槃寂靜 ・全ての煩惱を滅した、苦のない、覚りの境地。
- 一切皆苦 ・人生の全ては苦しみである。

色は匂へど散りぬるを 我が世誰そ常ならむ
有為の奥山今日越えて 浅き夢見し酔ひもせず

祇園精舎の鐘の音 諸行無常の響きあり
沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす

【因縁正起】

物事に偶然は存在しない、全ては『因』という直接の原因と『縁』という間接的条件がお互いに
関係し合って生じたり滅じたりする。世界中、全ての事は互いに関わり合いながら縁起している、
一つ、々の事象が実態ではない、関わり合う事が実態なのである。(ハードとソフトの関係)

【自燈明、法燈明】 ブッタ最後のことば



他人ではなく自分自身を拠り所とせよ。法『真理の教え』を拠り所とせよ。
外の物を拠り所にしてはならない。

【十無記】

- 1.世界は永遠であるのか。 2.永遠でないのか。
 - 3.世界は有限であるのか。 4.無限であるのか。
 - 5.生命は身体と同一か。 6.生命と身体は別個か。
 - 7.修行完成者(如来)は死後存在するのか。 8.修行完成者(如来)は死後存在しないのか。
 - 9.修行完成者(如来)は死後存在しながら、しかも存在しないのか。
 - 10.修行完成者(如来)は死後存在するものでもなく存在しないのでもないのか。
- ブッタはこの問には答えないで次の喩えを話された。

【毒矢の喩え】

ここに毒矢に射抜かれた人がいて、同僚たちが矢を抜いて手当をしようとするのであるが、『私を射た者は誰か、弓はどんなゆみか、矢はどうか、毒は何か、弦は何か、矢羽は何か、解明されない内は矢は抜いてはならない』といった。その人は無明と迷いの中で死んだ。
答えが得られての修行であり、教えである、故に私は毒矢の手当をする。私は涅槃に役立つ物を説く。役立たないものは説かない。この説くものと、説かないものの違いを了解せよ。

【唯識思想における無記】

仏教の唯識思想においては、目・耳・鼻・舌・身・意のさらに深層にある、阿頼耶識は現在の自己を成り立たしめている根源であり、善悪の種子を蔵する所である。阿頼耶識そのものは、善悪いずれの性質もおびない無記である。(小脳海馬・動物の脳)
更に深層にある末耶識は、我戲・我見・我慢・我愛の4つの煩惱を従えており、本能剥き出しの脳である。障害があるので、有覆無記という。(脳幹・爬虫類の脳)

【三宝帰依】

仏教は三宝(仏・法・僧)を敬う教えである。
仏－真理であるが故に尊し。
法－真理を顕したるが故に尊し。
僧－真理を修得したるが故に尊し。

【因果応報・三世の因果】

過去・現在・未来は別々のものではない。
○過去に作った原因によって現在があり。
○現在作っている原因によって未来がある。
○過去は消す事ができない。
○現世で功德を積み智慧を得るならば、未来(来世)で果を得る。